

“正しい手洗い”を 毎日の習慣に！

感染予防には
手洗いが有効

手に付着した目に見えない病原体を無意識に自分の
眼・鼻・口に運ぶ前に洗い流してしまいましょう

「手洗い」は命を救う！

自分と、大切な人の命を守るために
正しい手洗い！

村上 啓雄 氏

ぎふ総合健診センター 所長・常務理事
岐阜大学 名誉教授
岐阜県感染症対策専門家会議 委員
岐阜県感染症対策連携協議会 会長



■タイミングは？

- 帰宅後、トイレの後
- 食事の前、調理の前
- おむつ替えの後
- 不特定多数の人が触る物の
表面に触れた後

■用意するものは？

- せっけん（できれば液体が泡）
- ペーパータオルや個人用タオル・
ハンカチ
（共用タオルは使わない）

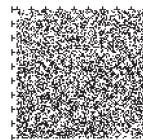
手指消毒用アルコールは、手洗
いの後に用いても良いですし、
手洗い場が近くにない場合は単
独で使用しても有効です。

ミナモの手洗い動画



音声コード Uni-Voice

専用アプリなどで読み
取ると、内容を音声で聞
くことができます。



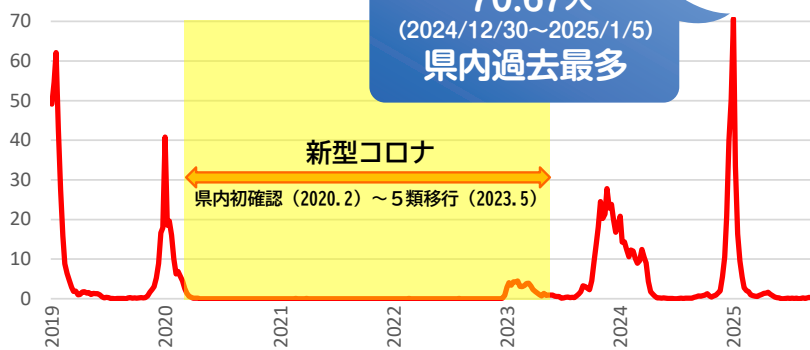
いろいろな感染症がありますが 対策の基本は共通で“手洗い”です

2023年5月に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に移行しました。
その後、様々な感染症の患者数が過去最多を記録するほか、重症化や死亡に至る場合もあり、引き続き警戒が必要になっています。



インフルエンザ

※定点把握



高齢者、慢性疾患を持つ方
重症化リスクあり
小児は痙攣、気管支喘息
急性脳症

伝染性紅斑(リンゴ病)

※定点把握



妊婦
**胎児の異常、
流産のリスクあり**

百日咳

※全数把握



**1歳未満の乳児
(特に6カ月未満)
重症化リスクあり**

2023年7月に
10年振り高水準

ヘルパンギーナ

5歳以下は特に注意！
高熱、のどの痛み、飲食を受け付けず
脱水を起こすことも

2024年10月に
8年振り高水準

マイコプラズマ肺炎

15歳未満は特に注意！
発熱、全身のだるさ、頭痛、咳

2024年に**過去最多**

劇症型溶血性 レンサ球菌感染症

30歳以上に多い！
敗血症、多臓器不全、
極めて致死率が高い
(約30%)

手洗い、マスク着用等の咳エチケット、換気、人混み回避など
基本的な感染対策を心がけましょう。

